

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	多発性骨髄腫
治療法	EPd療法

抗癌剤・商品名	1		2		3			
エムプリシティ	300mg 400mg		ポマリストカプセル 4mg、3mg、2mg、1mg		デカドロン 4mg錠、0.5mg錠 3.3mg/1mL注			
規格	エロツズマブ		ポマリドミド		デキサメタゾン			
一般名	1-2コース目	10mg/kg day1,8,15,22	4mg/day day1-21	一日投与量 (規定) と投与日	1-2コース目	28mg/day 8mg/day (75歳以上) day1,8,15,22		
一日投与量(規定)と投与日	3コース目以降	20mg/kg day1	4mg/day day1-21		3コース目以降	28mg/day 8mg/day (75歳以上) day1		
患者情報から算出した一日投与量	1-2コース目	500 mg	4 mg		一日投与量 (規定) と投与日	3コース目以降	40mg/day 20mg/day (75歳以上) day8,15,22	
	3コース目以降	1000 mg					4 mg	
実際の投与量	1000 mg		4 mg					
	20 mg/kg		4 mg					
1クール期間	28日間							
予定クール数								
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施							

適応基準 2レジメン以上の前治療歴を有する再発または難治性多発性骨髄腫

推奨経口剤 ○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。

禁忌 1.本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者  
2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性患者  
3.適正管理手順を遵守できない患者

中止基準 投与前の好中球数:1000/mm3未満、血小板数:50,000/mm3未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)

副作用

●エムプリシティ  
**重大** 1.Infusion reaction (42.9%) 2.感染症 3.リンパ球減少 (9.8%) 4.間質性肺疾患 (0.8%)  
**その他** (10%以上) 疲労 (25.9%)、末梢性浮腫、発熱、無力症、下痢、便秘、悪心、好中球減少 (27.2%)、血小板減少、貧血、不眠症、高血糖、筋痙縮 (10%未満) 胸痛、過敏症、白内障、気分変化、感覚鈍麻、帯状疱疹、鼻咽頭炎、上気道感染、寝汗、咳嗽、湿性咳嗽、体重減少、皮膚有棘細胞癌、基底細胞癌

●ポマリスト  
**重大** 1.深部静脈血栓症、肺塞栓症 2.脳梗塞 3.骨髄抑制 4.感染症 5.腫瘍崩壊症候群 6.心不全、不整脈 7.急性腎障害 8.過敏症 9.末梢神経障害 10.間質性肺疾患 11.肝機能障害、黄疸  
**その他** (10%以上) 便秘、下痢、疲労 (5~10%未満) 悪心、呼吸困難、筋痙縮、浮動性めまい、発熱、無力症 (5%未満) 口内炎、腹痛、口内乾燥、嘔吐、腹部膨満、上腹部痛、痔出血、胃腸出血、低血圧、高血圧、咳嗽、労作性呼吸困難、鼻出血、口腔咽頭痛、発声障害、筋力低下、四肢痛、筋肉痛、背部痛、骨痛、食欲減退、低カリウム血症、低アルブミン血症、低リン酸血症、低カルシウム血症、低ナトリウム血症、高血糖、低マグネシウム血症、高カリウム血症、高カルシウム血症、振戦、味覚異常、錯感覚、頭痛、失神、感覚鈍麻、錯乱状態、不眠症、うつ病、意識レベルの低下、傾眠、そう痒症、脱毛症、全身性皮疹、皮膚乾燥、寝汗、紅斑、多汗症、点状出血、末梢性浮腫、体重減少、回転性めまい、転倒、悪寒、倦怠感、CRP増加、浮腫、白内障、非心臓性胸痛、尿閉、慢性腎臓病、骨盤痛

●デカドロン  
**重大** 1.誘発感染症、感染症の増悪 (頻度不明) 2.続発性副腎皮質機能不全、糖尿病 (頻度不明) 3.消化性潰瘍、消化管穿孔、肺炎 (頻度不明) 4.精神変調、うつ状態、痙攣 (頻度不明) 5.骨粗鬆症、骨頭無菌性壊死、ミオパシー、脊椎圧迫骨折、長骨の病的骨折 (頻度不明) 6.緑内障、後囊白内障 (頻度不明) 7.血栓塞栓症 (頻度不明)  
**その他** (すべて頻度不明) 月経異常、下痢、悪心・嘔吐、胃痛、胸やけ、腹部膨満感、口渇、食欲不振、食欲亢進、多幸症、不眠、頭痛、めまい、筋肉痛、関節痛、満月様顔貌、野牛肩、窒素負平衡、脂肪肝、浮腫、血圧上昇、低カリウム性アルカローシス、中心性漿液性網脈絡膜症等による網膜障害、眼球突出、白血球増多、ざ瘡、多毛、脱毛、色素沈着、皮下出血、紫斑、線条、搔痒、発汗異常、顔面紅斑、紅斑、創傷治癒障害、皮膚菲薄化・脆弱化、脂肪織炎、発疹、発熱、疲労感、ステロイド腎症、体重増加、精子数及びその運動性の増減、しゃっくり

備考

# EPd療法 観察記録

所要時間:

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )	
医師	<b>指示医師:</b> <b>エムプリシティ (                    mg )</b> 一般名(エロツズマブ)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間	調剤 実施
投与指示	本体	側管			
	デカドロン錠(4mg)                    錠		起床時内服		
	生食250mL		ルートキープ用		
	カロナール錠(500mg) 1錠		ルートキープ時に内服		
	生食100mL + ファモチジン1A + デカドロン2A + ポララミン1A		30分かけて点滴 【200mL/hr】		
			30分間経過観察		
生食250mL + エムプリシティ ※ <b>フィルター付き</b> 点滴ラインを使用		<input type="checkbox"/> 下記参照 <input type="checkbox"/> 300mL/hrで投与 (1クール1回目2回目と3クール1回目以外)			
本体終了後抜去					

